

令和2年度 自己点検・自己評価結果

1. 評価基準

平成25年度より「看護師学校養成所の自己点検・自己評価指針」（看護師等養成所の教育活動などに関する自己評価指針作成検討委員会まとめ）に基づいて自己点検・自己評価を実施してきたが、評価項目が多く文言が難解等の課題があった。そこで、学校評価委員会において検討を重ね、改訂した評価基準に基づいて実施した。

改訂の目的：「看護師学校養成所の自己点検・自己評価指針」を参考に、より効果的な学校評価を目指して、評価基準のスリム化・平易化を図る。

検討期間：令和元年7月～令和2年1月

2. 評価点

4点：よく当てはまる・・・70%以上満たしている

3点：当てはまる・・・30%～70%満たしている

2点：あまり当てはまらない・・・30%以下しか満たしていない

1点：当てはまらない・・・満たしていない

3. 評価者

教職員全員（教員・事務）及び担当理事

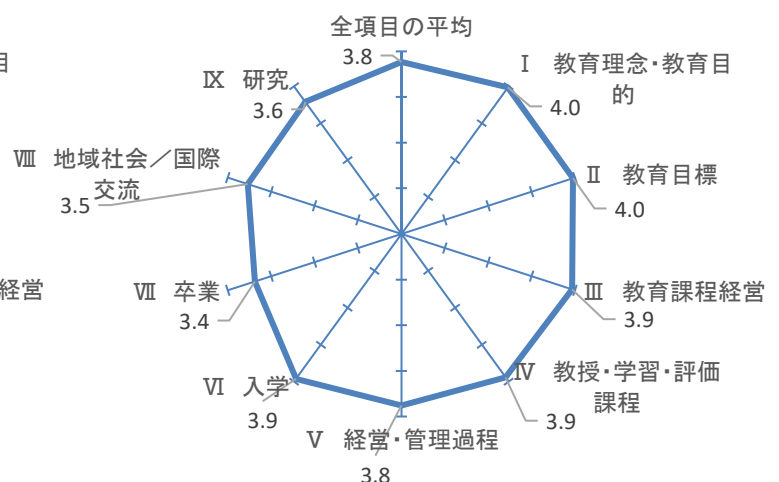
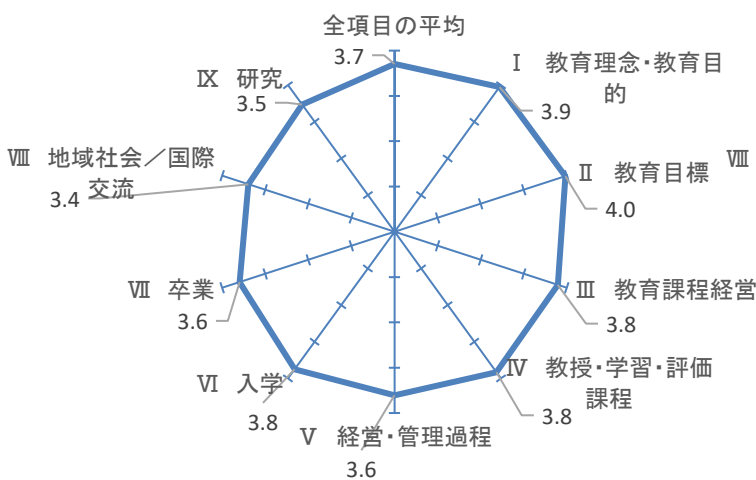
4. 結果

【3年課程】

【2年課程通信制】

3年課程 令和2年度

通信課程 令和2年度



5. 総括

1) 自己点検・自己評価は、良い学校作りを目指して実施しており、項目ごとに分析した結果を以下の2つの視点でまとめる。

(1) 評価点が3点以上で、学校として評価できる項目

I～IXすべてが3点以上であった。

I 教育理念・教育目的・II 教育目標・III 教育課程経営・IV 教授・学習・評価課程の評価は、3.8～4.0と高評価である。

令和2年度は新カリキュラム改正に向けてカリキュラム評価を行ったため、教育理念・教育目的・教育目標には本校の特徴が表現され、一貫性があると確認された。

教育課程経営において、卒業生の特性を達成するための教育内容を網羅しており、科目、単元構成においても看護師養成に必要な実践的職業教育に取り組んでいる事が明確になった。

教授・学習・評価課程でも、学習内容に応じて授業形態を選択し、理論・知識・技術・看護師としての対象への配慮が統合して学べるよう全教員が工夫し、進度に応じた学習支援が行われている事が確認された。また、コロナ禍の学習支援としてリモート授業や学習資料の工夫、演習の工夫等教員全員で取り組んだことが高評価につながったと考える。

V 経営・管理過程・VI 入学・VII 卒業・VIII 地域社会・国際交流・IX 研究の評価は、3.4～3.9である。

経営・管理過程は学校設置者と管理者の考え方や、組織の体制における役割機能が明確である事が確認された。

入学は、入試委員会において選抜基準の妥当性を検証し、一貫性のある入学選抜を行っている点、卒業は、卒業時の到達状況をとらえる方法が明確であり、卒業認定会議を経て認定されている点が評価された。

地域社会・国際交流は、コロナ禍のため積極的な活動ができなかったが、地域の要請に応じて可能な範囲で継続した。

研究は、コロナ禍により多くの研修や学会がオンライン開催となったことを活用して参加する機会が増えたため評価が上がったと考える。

(2) 大項目では3点以上だが、課題として確認された点

III 教育課程経営：中項目＜教員の教育・研究活動の充実＞ 評価点は3.4～3.9であるが、コメントに「研究授業の機会がない」との意見があった。コロナ禍が落ち着き、平常の授業や実習ができる状況になったら授業研究に取り組み、教員相互に成長できる機会を設ける。中項目＜学生の看護実践の保証＞ 評価点は3.6～3.9であるが、コメントに「実習におけるインシデントについて情報交換にとどまる傾向がある」とあり、実習指導に活かすため検討時間を設ける必要がある。

V 経営・管理課程：中項目＜学校の運営計画と将来構想＞評価点は3.2～3.6であるが、長期計画・中期計画・短期計画の立案や情報開示はなく、学校法人としての長期ビジョンに課題がある。

VII 卒業：小項目＜卒業生の就職先での状況把握＞及び＜卒業生の就職先との情報交換の体制＞は2.8～3.3と低い。前回の総括でも、卒業生の状況を把握するシステムがない事が低評価の原因であった。卒業生の状況把握はカリキュラム評価に活かすため必要であり、どのようなシステムで情報収集が可能か、課題解決に向けた取り組みを検討していく。

2) 改訂した評価基準の評価

評価基準の改定により全体に評価点が改善した。評価項目が精選され表現が平易になったため、評価基準と学校の活動との関連がわかりやすくなった事で評価のばらつきがなくなった。また、改定に伴う評価基準や参考資料等の説明を行った事も共通理解に繋がり、評価点改善の要因となっていると考える。

自由記載では、今後さらに良くしていくための意見や改善に向けた内容が記入され、充実した教育活動に向けた取り組みへの示唆が得られた。